

平成 28 年度（第 3 回）高岡市男女平等推進市民委員会

会議録（要旨）

○ 日 時	平成 29 年 2 月 15 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分
○ 場 所	高岡市役所本庁 3 階庁議室
○ 出席者	・ 委 員 11 人（市田会長、大坂副会長、大平委員、勝山委員、小泉委員、小間委員、島委員、高木委員、花田委員、向委員、柳委員） ・ 高岡市 8 人（高橋市長、青島市民生活部長、福田市民生活部次長、中村男女平等・共同参画課長、蒲田男女平等推進センター所長、北河係長、小泉主任、岡主事） ・ 傍聴者 1 人
○ 内 容	1 開 会 2 挨 拶 青島市民生活部長 3 会長挨拶 ◎会 長 ・ 男女平等推進プラン（第 2 次）及びDV対策基本計画（第 2 次）の最終答申（案）がまとまったので、市民委員会として最終的に取りまとめていきたい。 中間報告について、市民意見等を取り入れた計画作成については、2 つの部会の委員の皆様には、部会での貴重なご意見・ご提案をいただき、改めて感謝申し上げます。 本日は、それぞれの計画を最終的に取りまとめた後、高橋市長へ答申したいと考える。 4 男女平等推進プラン策定部会報告 ○小間副部長 ・ 部会開催経過及び最終答申（案）説明 ●事務局 － 資料 1、3 により説明 － 5 DV対策基本計画策定部会 ○大平部長 ・ 部会開催経過及び最終答申（案）説明 ●事務局 － 資料 2、4 により説明 － 6 質疑・意見交換等 ○委 員 ・ 現場の意見を取り入れていただいて感謝している。DV対策基本計画 11 頁の「民間支援団体等からの主な意見」について、他市の計画やプランにはあまり見かけない記載だが、どのような意図があるのか。 ●事務局 ・ 市は民間支援団体と協力して取り組んでいきたいという思いを込めて記載した。

○委 員

- ・ 性的少数者に対する項目も取り入れ、今後の 10 年間を見据えた計画になっている。

○委 員

- ・ 様々な意見を取り入れていただけた。

○委 員

- ・ 参考資料として、憲法や女子差別撤廃条約を掲載していただきたい。

●事務局

- ・ 掲載する方向で検討したい。

7 会議のまとめ

◎会 長

- ・ すべての審議を終え、本答申（案）を答申に変えて、高岡市長に高岡市男女平等推進プラン（第 2 次）及びDV対策基本計画（第 2 次）を答申したい。

8 答 申

◎会 長

- ・ 平成 28 年 5 月に、高橋市長から、諮問のあった高岡市男女平等推進プラン及びDV対策基本計画の策定について、高岡市男女平等推進条例に基づき、それぞれの専門部会を設置のうえ慎重に審議の結果を取りまとめた。
- ・ 男女平等推進プラン（第 2 次）の策定にあたっては、これまでの成果や今日的な社会情勢などをふまえ、現行の男女平等推進プランの内容を見直し、「男女が一緒になって活躍できる社会」を目指す計画とした。
- ・ DV対策基本計画（第 2 次）の策定にあたっては、社会情勢の変化やDV防止及び被害者支援のための取り組みのより一層の充実を図るため、「～暴力を生み出さない社会を目指して～」という副題を付けた計画とし、DVに対する正しい理解の促進や若い世代への予防啓発の推進などを重点的に取り組んでいくこととしている。
- ・ 市長におかれましては、市民の皆様、当委員会の思いを十分に理解され、新しい計画を速やかに決定され、高岡市の男女平等・共同参画の推進に邁進していただきたい。

－ 会長から市長に答申を手交 －

9 市長挨拶

●市 長

- ・ 昨年 5 月の市民委員会において、次期男女平等推進プラン及びDV対策基本計画の策定をお願いし、それぞれ専門部会が開催されるなど、熱心にご審議をいただき、感謝申し上げます。人口減少社会の中で、男性も女性も能力を発揮しながら、地域、日本の活性化のために活躍することが必要であり、男女平等の推進が今後の日本社会を支える大きな柱になると考えている。
- ・ 本日、答申いただいた男女平等推進プラン（第 2 次）については、「男女が一緒になって活躍できる社会」を目指して、積極的に施策を推進していきたいと考えている。また、DV対策基本計画（第 2 次）についても、市民並びに、支援団体の皆様とともにDVの予防・啓発をすすめ、「暴力を生み出さない社会」を目指したいと考えている。
- ・ 皆様方には、今後も引き続き、市の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願いしたい。

〔以 上〕